

10. 沙流川における被災状況①

日高地方では、8月18日未明から19日早朝にかけて、停滞前線による大雨に見舞われ、沙流川では24時間雨量（平取地点における流域の平均）が311mmとなり、観測史上最大の洪水であった平成15年8月の台風10号と同程度の豪雨となりました。

下流の富川水位観測所、平取水位観測所の河川水位が長時間にわたり警戒水位を越え、約140haの浸水被害が確認されています。

また、二風谷ダムでは、約540m³/sの洪水調節を行い、平取観測所地点で約0.5mの水位を低下させるとともに、約1万m³の流木を捕捉しました。

